

2025年1月9日

JUKI 古着を活用したアップサイクルワークショップを開催 企業とイノベーションと暮らしをつなげる展示会「たま未来・産業フェア」に出展

JUKI株式会社(本社:東京都多摩市 以下、JUKI)は、2025年1月18日(土)に東京たま未来メッセ(東京都八王子市明神町3丁目19-2)で行われる「第2回たま未来・産業フェア」において、古着やハギレを活用してボトルケースを制作するアップサイクルワークショップを開催します。



▲制作するボトルケース(イメージ) ※本体のボトルは付きません

近年アパレル産業は、大量生産・大量消費・大量廃棄により、製造にかかる資源やエネルギー使用の増加、ライフサイクルの短命化などから環境負荷が非常に大きい産業として国際的な課題となっています。JUKIは優先して取り組むべき重要課題の一つに「衣料廃棄ロスの削減」を掲げ、衣料廃棄ロスへの関心を高め、その削減につながる「アップサイクル活動」を全国で推進しています。

たま未来・産業フェアは「ものづくり」「GX・DX」「暮らし」の3つをテーマに、多摩地域や区部・近隣県から、様々な個性を持つ中小企業が製品・サービスを展示する多摩地域で最大級のイベントです。JUKIは、ボトルケースのワークショップのほか、独自の光学技術をベースに小型金属部品のキズやへこみなどの各種不良を自動検出する「小型外観検査機 SE100」を出展し、製造工場において人手のかかる目視検査工程の自動化、省人化、効率化をご提案いたします。

JUKIはSDGsが掲げる社会課題に取り組み、持続可能な社会の実現で世界中の人々が“豊かな暮らし”を実現するためのパートナーとして、設備やシステム、生産方式などのあらゆる観点からこの課題に取り組み、社会にとって存在価値のある会社であり続けることを目指します。

*アップサイクル:役割を終えた古着や廃材を、その形状や特徴を活かし、価値ある新しいモノに作り変えること

【ワークショップ開催概要】

テーマ:アップサイクルソーイングでボトルケースを作ろう

参加対象:小学生以上(小学4年生以上は子供だけの参加可能。小学3年生以下は保護者同伴)

開催日時:2025年1月18日(土)

①10:00~11:00 ②11:15~12:15 ③13:15~14:15 ④14:30~15:30

参加者数:1回あたり9名(4回開催) 合計36名

開催場所:東京たま未来メッセ 1F交流サロン

参加料金:無料 ※整理券配布を10:00、12:30の2回行います

参加方法:2025年1月18日(土)当日に、ワークショップ受付へ直接お越しください

不要となった衣類やハギレを使ってボトルケースを制作します。当社スタッフが丁寧にサポートしますので、ミシンを使ったことがない方でも安心してご参加ください。制作したボトルケースはお持ち帰りいただけます。ぜひこの機会に「アップサイクルソーイング」を体験してみませんか。

※ハギレなどの材料は、会場で準備します。



▲2024年のアップサイクルワークショップ開催の様子

【たま未来・産業フェア概要】

「ものづくり」「GX・DX」「暮らし」の3つをテーマに、多摩地域や区部・近隣県から、様々な個性を持つ中小企業が製品・サービスを展示します。多様な企業・地域の皆様との交流を通じて新たな連携とイノベーション創出を目指す、「たま未来・産業フェア」は『企業とイノベーションと暮らしをつなげる展示会』です。



公式サイト<https://tama-innovation-event.jp/>

【ご参考】

[JUKI社内のアップサイクル活動 \(YouTube\)](#)

[JUKI家庭用ミシンHP](#)

[JUKI家庭用ミシンインスタグラム](#)

■ワークショップ開催に関するお問い合わせ先

お問い合わせフォーム <https://www.juki.co.jp/contact-form/>

■報道関係のお問合せ先

JUKI 株式会社 総合企画部 広報グループ TEL:042-357-2398